

ISSN 0439-1713

弘前大学
教育学部紀要

第 107 号

平成24年 3 月

Bulletin of the Faculty of Education
Hirosaki University

No. 107

March 2012

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

目 次

酒田市立光丘文庫所蔵の往来物資料 …………… 郡 千寿子 (1) —目的と出版地からの分類分析—	
高山寺本『莊子』の漢字音 …………… 石 山 裕 慈 (7)	
戦後開拓地のライフヒストリー (2) …………… 高 瀬 雅 弘 (15) —岩手上郷分村開拓における若者たちの職業経歴の再構築過程—	
NPO法人の雇用創出力と多様就業対応型ワークシェアリングの可能性について … 秋 葉 まり子 (29) ; 青森県の事例分析 中 島 麻 子	
奇数次元球面のアインシュタイン超曲面 …………… 昆 万佑子 (43) 昆 正 博	
小学校理科6年「電気の利用」の中の手回し発電機と …………… 山 本 逸 郎 (51) コンデンサーを用いた実験について	
感性の復興 東日本大震災から問い直す「生きる力」と造形教育 …………… 富 田 晃 (65)	
中学校技術科における栽培に関する学習内容と教科書題材の変遷 …………… 上 野 耕 史 (73) 谷 田 親 彦 相 澤 崇 豊 肥田野 豊	
小・中学生のゲーム機によるネット利用の実態調査と比較研究 …………… 大 谷 良 光 (83) ～青森県市街地域と農業・漁業地域、全国（内閣府2011年調査）との比較～ 浅 田 豊 加賀谷 悠	
保健室の利用状況と保健室観・養護教諭観の関連 …………… 久 野 真 澄 (95) ～小・中・高校時代の経験に基づいて～ 遠 山 彩 香 小 林 央 美 田 中 勝 則	
小学校低学年の保健学習についての研究 …………… 民部田 真由子 (101) —学習プログラム試案と教材の検討— 安 齋 ひとみ 仲 彩 佐 安 田 絵里菜 面 澤 和 子	
学習指導要領とその解説および保健・保健体育教科書における …………… 吉 田 夏 (113) 排卵と基礎体温に関する記載 葛 西 敦 子	
明治前期における道徳教育と社会教育の関係に関する一考察 …………… 毛 内 嘉 威 (123) 佐 藤 三 三	
マインドフルネスと抑うつとの関連 …………… 宇佐美 麗 (131) —自己制御の働きに着目して— 田 上 恭 子	
大学生における強迫傾向と TAF (Thought-Action Fusion) との関連について … 加 藤 由 佳 (139) 田 上 恭 子	

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部紀要編集委員会

1. 本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として各年度の10月及び3月の年2回とし、各号はA4版で約150ページとする。
3. 原稿の締切は概ね7月下旬及び1月上旬とする。
4. 論文の著者には本学部の教員が含まれていなければならない。
5. 論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6. 各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8. 掲載順序など、編集に関することは紀要編集委員会が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9. 原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が11ページ以上に及ぶ場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合には、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は、平成20年4月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1. 原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサ等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したフロッピー・CD-R等を添付することが望ましい。
2. 原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3. 本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文等の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4. 文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5. 印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6. 図表（写真、楽譜等を含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則としてひとつずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるような明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、編集委員に確認を受ける。

編集委員会

齋藤和男(委員長)
長崎秀昭
西澤道知
豊嶋秋彦

弘前大学
教育学部紀要
第107号
(2012年3月)

平成24年3月17日印刷
平成24年3月22日発行
編集兼発行者
弘前大学教育学部
弘前市文京町1番地
電話(0172)36-2111(代)
印刷所 小野印刷
弘前市富田町52
電話(0172)32-7471(代)

CONTENTS

Investigation report on “OURAIMONO” documentsChizuko KOHRI (1) of Sakata City KOKYU BUNKO possession – Classification analysis by the purpose and the publication place –	
A Study on Sino-Japanese of "Zhuangzi (莊子, owned by KŌZANJI Temple)" ... Yūji ISHIYAMA (7)	
A Life History approach to Postwar Reclamation (2)..... Masahiro TAKASE (15) Reconstruction Process of Youth’s Career in Kamisato clearance, Takizawa, Iwate	
The Job Creation and Worksharing Corresponded to a Variety of Ways of Working ...Mariko AKIBA (29) in Certified NPO: The Case Analysis of Aomori Prefecture	Asako NAKAJIMA
Einstein hypersurfaces in an odd-dimensional sphere Mayuko KON (43)	Masahiro KON
Experiments Using a Manually Operated Generator and a Capacitor Itsuro YAMAMOTO (51) in “the Application of Electricity” in Science of the 6th Grade	
Restoring Sensitivity: Reconsidering "Ikiru Chikara" Theory and Art Akira TOMITA (65) Education through the Lens of the Great East Japan Earthquake	
The Transition of Learning Contents and Subject Matter Kousi UENO (73) in Cultivation of Technology Education	Chikahiko YATA Shuu AIZAWA Yutaka HIDANO
Comparative Research of School Children Yoshimitsu OTANI (83) Internet Use through a Game Machine ~comparing a city area with agricultural and fishery area in Aomori prefecture, and comparing this research with a nationwide research (the Cabinet Office Research 2011) ~	Yutaka ASADA Haruka KAGAYA
Relationship between Use Patterns and Images of School Health Room Masumi HISANO (95) (SHR) among Yogo Teachers among University Students ~ Based on Experiences in Elementary, Junior and Senior High School Periods ~	Ayaka TOYAMA Hiromi KOBAYASHI Masanori TANAKA
A Study on Developing Health Education Curricula and Teaching Material ... Mayuko MINBUTA (101) for First and Second Grades in Elementary School –An Examination of a Potential Program and Teaching Materials–	Hitomi ANZAI Ayasa NAKA Erina YASUDA Kazuko MENZAWA
Explanation Regarding Ovulation and Basal Body Temperature Natsumi YOSHIDA (113) from the New Course of Study, its Teaching Guide and Health and Physical Education Textbooks as Authorized by the Japanese Government	Atsuko KASAI
Study of the Relation between Moral Education and Yoshitake MONAI (123) Social Education in the Early Meiji era	Sanzo SATO
Effortful Control Mediates the Relation Between Mindfulness and Depression Rei USAMI (131)	Kyoko TAGAMI
Relationships between Obsessive-Compulsive Symptoms and Yuka KATO (139) Thought-Action Fusion	Kyoko TAGAMI